



2019年10月7日

先週の回顧

ブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに上昇しました。また、2年国債金利は低下しました。

年金改革に関しては、延期されていた上院議会での第一回票決が行われ、賛成56票：反対19票で承認されました。承認された法案の歳出削減規模は10年で8,000億レアルと下院議会で承認された法案からさらに縮小しましたが、市場は第一回投票を通過したことを好感し、ブラジル・レアル高、金利低下要因となりました。

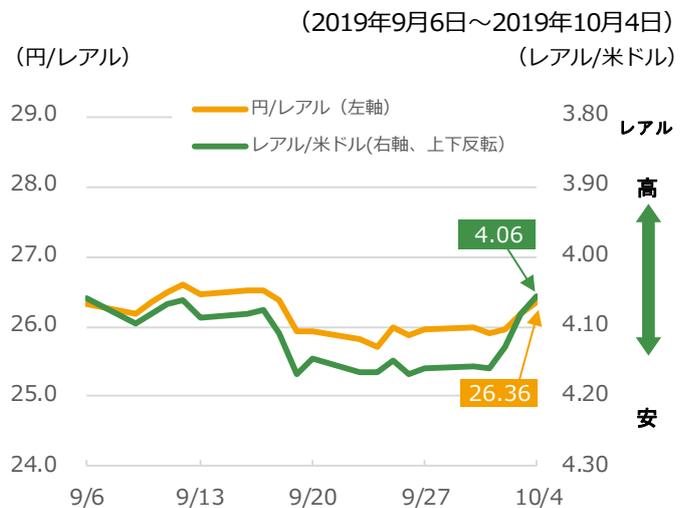
経済指標に関しては、8月の鉱工業生産や9月の各種PMI（購買担当者指数）が発表されました。鉱工業生産は前月・前年比ともに市場予想を上回り、PMIは製造業、サービス業、コンポジットの全てで前月から上昇しました。

今週の見通し

今週はIPCAインフレ率や小売売上高などの経済指標の発表が予定されています。

年金改革法案の第二回投票は10月中旬までに行われる予定で、年金改革法案成立が目前となりました。一方、ゲデス経済相は縮小した歳出削減規模を取り戻す策を考案するよう関係各所に指示を出しており、議論が長引く可能性もあります。そのため、年金改革法が成立するまでは議論の動向に注意が必要になりそうです。

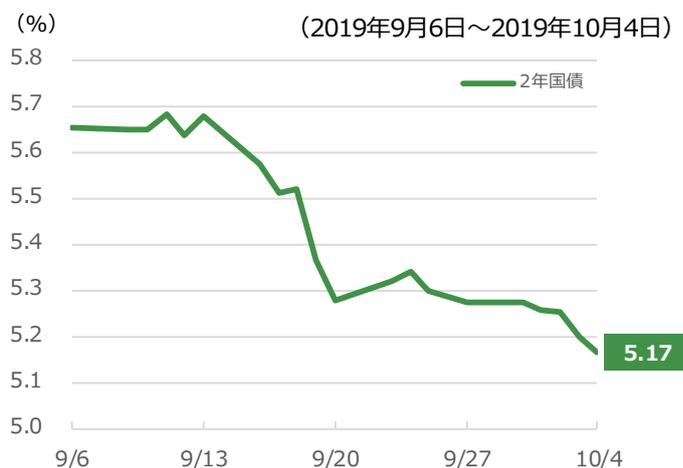
ブラジル・レアル 為替推移



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

ブラジル 金利推移



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。